七　大容量泡放水砲用ねじり式結合金具　ねじ式結合金具のうち、大容量泡放水砲用防災資機材等としての用途にのみ用いられる、大容量ホース又は大容量吸管（吸管規格省令第二条第二号に規定するものをいう。以下「大容量吸管」という。）をねじる方法により他の大容量ホース又は大容量吸管、大容量泡放水砲用ポンプ自動車、大容量泡放水砲用可搬消防ポンプ等と結合するために、大容量ホース又は大容量吸管の端部に装着する金具をいう。

八　呼び径　大容量泡放水砲用差込式結合金具又は大容量泡放水砲用ねじり式結合金具のかん合部の設計された内径（単位　ミリメートル）をいう。

九　使用圧　設計された常用最高使用水圧（単位　メガパスカル）をいう。

第三条　消防用結合金具（大容量泡放水砲用差込式結合金具及び大容量泡放水砲用ねじり式結合金具を除く。以下この章において同じ。）は、次のとおり区分する。

（区分）

かん合部	用途	呼称														
差込式	ホース用						七十五	六十五	五十	四十	三十	二十五				
ねじ式	ホース用	百五十		百二十五		百	九十	七十五	六十五	五十	四十	三十	二十五	二十		
	吸管用	百五十	百四十	百二十五	百十五	百	九十	七十五	六十五	五十	四十					

（一般構造）

第四条　消防用結合金具の構造は、次に定めるところによらなければならない。

一　水流による摩擦損失の少ない構造であること。

二　均一で良質な材料が用いられていること。

三　装着部は、堅固なものであり、装着したホース又は吸管が離脱しにくい構造であること。

四　人の触れるおそれのある部分は、面取、バリの除去等の危険防止のための措置が講じられたものであること。

五　機能を損なうおそれのある附属装置が設けられていないこと。

六　異種の金属が接する部分は、腐食を防止する処理が講じられたものであること。

（材質）

第五条　消防用結合金具の部品又は部分で、次の表の上欄に掲げるものに用いる材料は、それぞれ同表の下欄に掲げるもの又は工業標準化法（昭和二十四年法律第百八十五号）第十七条第一項に定める日本工業規格（以下「ＪＩＳ」という。）Ｚ　二二〇一で定める方法により採取した四号試験片（つめバネにあっては五号試験片とする。）を用いてＪＩＳ　Ｚ　二二四一により試験を行った場合、引張り強さ及び伸びが同表の下欄に掲げるものと同等以上の強度を有するものでなければならない。

部品又は部分	材料
差し金具	ＪＩＳ　Ｈ　四〇八〇（アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管）
受け金具	ＪＩＳ　Ｈ　四一〇〇（アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材）
押し輪	ＪＩＳ　Ｈ　五一二〇（青銅鋳物及びシルジン青銅鋳物）
しめ輪	ＪＩＳ　Ｈ　五一二一（青銅連続鋳物及びシルジン青銅連続鋳物）
装着部	ＪＩＳ　Ｈ　五二〇二（アルミニウム合金鋳物）
つめ	ＪＩＳ　Ｈ　五一二〇（青銅鋳物） ＪＩＳ　Ｈ　五一二一（青銅連続鋳物）
つめばね	ＪＩＳ　Ｇ　四三一三（ばね用ステンレス鋼帯） ＪＩＳ　Ｇ　四三一四（ばね用ステンレス鋼線） ＪＩＳ　Ｈ　三一一〇（リン青銅及び洋白の板並びに条） ＪＩＳ　Ｈ　三一三〇（ばね用ベリリウム銅、リン青銅及び洋白の板並びに条）
しめ輪の抜け止め部品	ＪＩＳ　Ｇ　四三〇八（ステンレス鋼線材） ＪＩＳ　Ｈ　三二六〇（銅及び銅合金の線） ＪＩＳ　Ｈ　四〇八〇（アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管） ＪＩＳ　Ｈ　五一二〇（青銅鋳物） ＪＩＳ　Ｈ　五一二一（青銅連続鋳物）

2　消防用結合金具に用いるパッキンの材料は、次の表の上欄に掲げる項目に応じ同表の中欄に掲げる測定方法により測定した値が、同表の下欄に掲げる範囲内又はこれと同等以上の性能を有するものでなければならない。この場合において、耐油性及び耐老化性における試験温度及び試験時間は、それぞれ摂氏百度及び七十時間とする。

項目		測定方法	範囲
引張強さ（単位　メガパスカル）		ＪＩＳ　Ｋ　六二五一	十以上
伸び（単位　パーセント）		ＪＩＳ　Ｋ　六二五一	五百以上（差込式結合金具） 百以上（ねじ式結合金具）
硬さ		ＪＩＳ　Ｋ　六二五三	三十五以上四十五以下（差込式結合金具） 七十五以上八十五以下（ねじ式結合金具）
耐油性	体積変化率（単位　パーセント）	ＪＩＳ　Ｋ　六二五八　ナンバー三油	プラス五十以上プラス百二十以下（差込式結合金具） プラス二十以上プラス八十以下（ねじ式結合金具）
		ＪＩＳ　Ｋ　六二五八　ナンバー一油	マイナス十以上プラス十五以下（差込式結合金具） マイナス五以上プラス十以下（ねじ式結合金具）
耐老化性	引張強さ変化率（単位　パーセント）	ＪＩＳ　Ｋ　六二五七	マイナス十五以内
	伸び変化率（単位　パーセント）	ＪＩＳ　Ｋ　六二五七	マイナス四十以内
	硬さ変化	ＪＩＳ　Ｋ　六二五七	プラス十五